



専門コース 『やってみよう！福祉のお仕事』



講師 とよた多世代参加支援プロジェクト

- ・ P-BASE 栗本浩一氏
- ・ (株)SMIRING 山口達也氏
- ・ げつじん 小西敦子氏
- ・ 就労支援センタージョルノ若林 荒井勇治氏
- ・ いま・ここ 小黒泰之氏
- ・ デイサービスよっといでん 中垣義治氏

シルバー人材センター 山際英氏 (※⑨のみ)

※講師の方々、実習先の方々ありがとうございました。

【日 程】		
①	7/25 (月)	福祉のお仕事とは？
②	8/8 (月)	実習を行う上での注意点など
③	8/10 (水)	福祉施設で実習体験
④	～8/28 (日)	(2日程度)
⑤	8/29 (月)	実習体験のふりかえり
⑥	8/30 (火)	福祉施設で実習体験
⑦	～9/11 (日)	(2日程度)
⑧	9/12 (月)	実習体験のふりかえり
⑨	9/26 (月)	福祉の仕事紹介など

実習先		実習 (人)
げつじん	高齢者デイサービス	3
よりみち	障がい就労支援	2
よっといでん	高齢者デイサービス	4
スマイリング松平	高齢者デイサービス	5
スマイリング KITCHEN LABO	就労継続支援 B型事業所	3
きらりん	障がい者デイサービス	1
ジョルノ若林	障がい者就労支援	1
いま・ここ	子どもの学習支援	1
いま・ここ	東山ぐうぐう食堂	2



P-BASE 栗本浩一氏

講義、実習先のトータルコーディネートをして頂きました。



(株)SMIRING 山口 達也氏

講義、実習のふりかえり等を担当して頂きました。



● 実習風景 ●



実習先：げつじん

● 実習ふりかえり ●

- 利用者ではなく「先輩さん」と呼ぶこと。認知症の方には同じことを繰り返されても話をきいてあげること、受け止めることが大切。デイサービスを通じて、生きる力生活する力を養うこと。(げつじん)
- どんな時も利用者さんの変化の様子を気にかけて、気づくように心掛けていて、また来たいという気持ちになってもらえるように、サポートをしていること。様々な工夫をして、利用者さんに楽しんでもらえるようにしていたこと。利用者ファースト。(スマイリング松平)
- 知的障がい者は自立と社会生活への参加をめざす必要がある。デイサービスでは個別の支援計画に基づいて楽しく活動していた。落ち着いた生活を送る中で生きる力を身につけていくことができると思う。実習の前後に説明(実習体験ふりかえり)の時間が役立った。(きらりん)
- 全員とてもまじめに仕事をしていた。話しかけるとニコニコと話しをしてくれた。私の方がいろいろと教わりました。楽しかったです。(ジョルノ若林)
- 今日は、利用者が到着して帰宅するまでの様子を見ることができた。職員が、一人一人に寄り添った生活をしていることが分かった。(よっといでん)
- 児童生徒に学習支援や遊びの場があることがわかり児童生徒の明るい笑顔を見ることができた。(いま・ここ)
- いろいろお話してくれる子もいて楽しかったです。お昼も手作りのご飯ですごくおいしそうでも私も食したかったです。ごはんを作っていたお母さんもとてもやさしそうな人でした。もちろん職員さんも。(よりみち)

● 最終日の皆さんのふりかえり ●

- 高齢者の利用施設では、自分も利用者の方と同じ立場で参加した感じだったけどそれも福祉の第一歩だと、げつじんさんの小西さんが言ってみえてなるほど...と思いました。良い体験ができました。●体験出来たことが良かった。まだまだよくわからないが今回の講座でもう少し考えて検討して仕事になれば...。●いろいろ学べたことはありがたいと思いました。●シルバー人材センターの紹介があり良かったです。地域共存社会の中でこの講座で学んだり体験した事をこれから生かして行きたいと思えます。●大変な仕事だと感じます。果たして自分ができるか。ボランティアからの発進か...。●自分も何年後かわからないがデイサービスなどお世話になると思う。その前にお仕事として関わってみたいと思いました。今の自分に出来ることはそんなに多くないし自信もないがチャレンジしていきたい。